

日産車体株式会社

2025年度 第2四半期(中間期)決算説明

(2026年3月期)



2025年 11月

決算サマリー

当社グループを取り巻く環境は、米国を中心とした通商問題による世界経済を通じた間接的な影響等に注視が必要な状況が続いている。

このような環境において、主に前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」、「新型アルマーダ」等の売上台数の増加や、生産効率の向上等により、増収・増益となった。

売上台数

前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」及び「新型アルマーダ」の増加等により、前年同期と比べ、15.4%増加の73,345台

売上高

台数増加の影響等により、26.8%増加の1,861億円

営業利益

台数増加の影響に加え、生産効率が向上したこと等により78億円改善の55億円

経常利益

80億円改善の60億円

親会社株主に帰属
する当期純利益

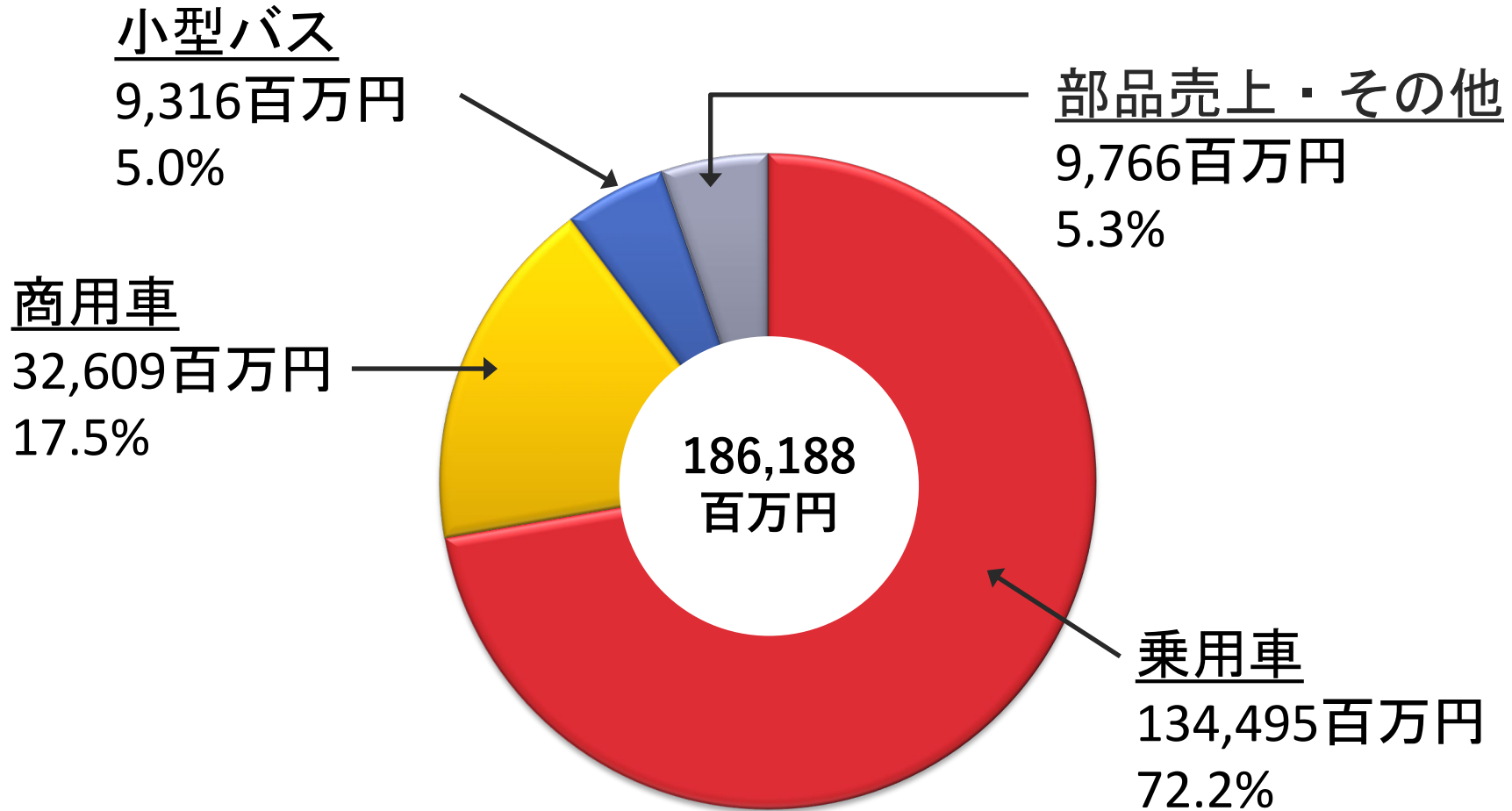
51億円改善の37億円

業績ハイライト

単位:百万円

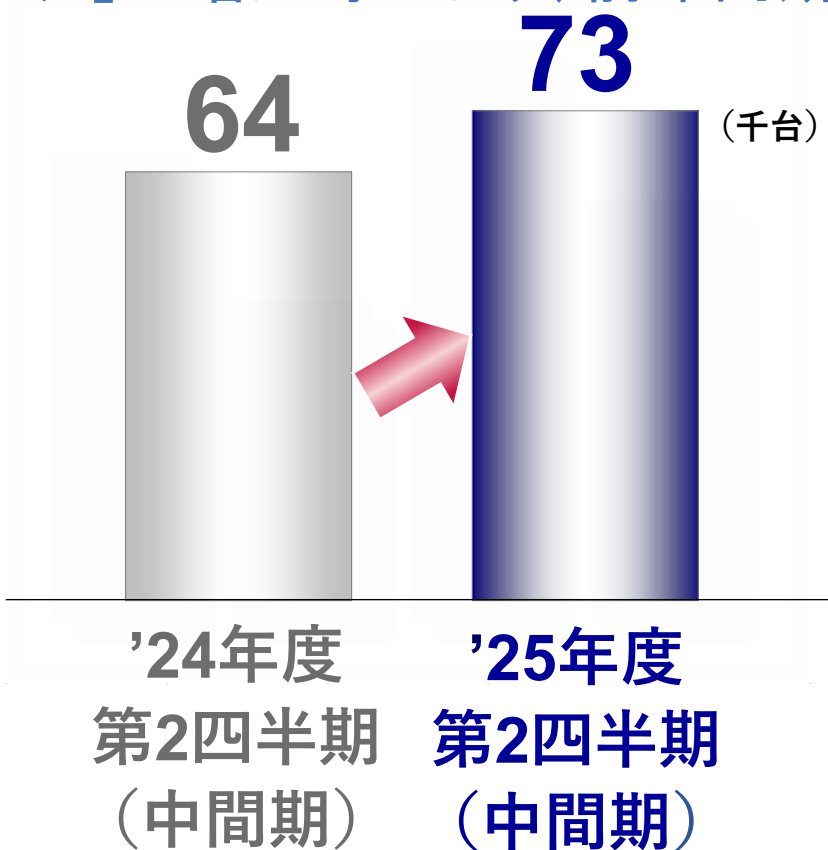
	2024年度 第2四半期 (中間期) (2024/4~9)	2025年度 第2四半期 (中間期) (2025/4~9)	増減額(率)		通期計画
売上高	146,806	186,188	39,382	26.8%	398,100
営業利益	▲ 2,270	5,550	7,820	-	6,900
経常利益	▲ 1,984	6,025	8,009	-	7,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 1,459	3,713	5,172	-	4,400

製品別売上高構成比



売上台数

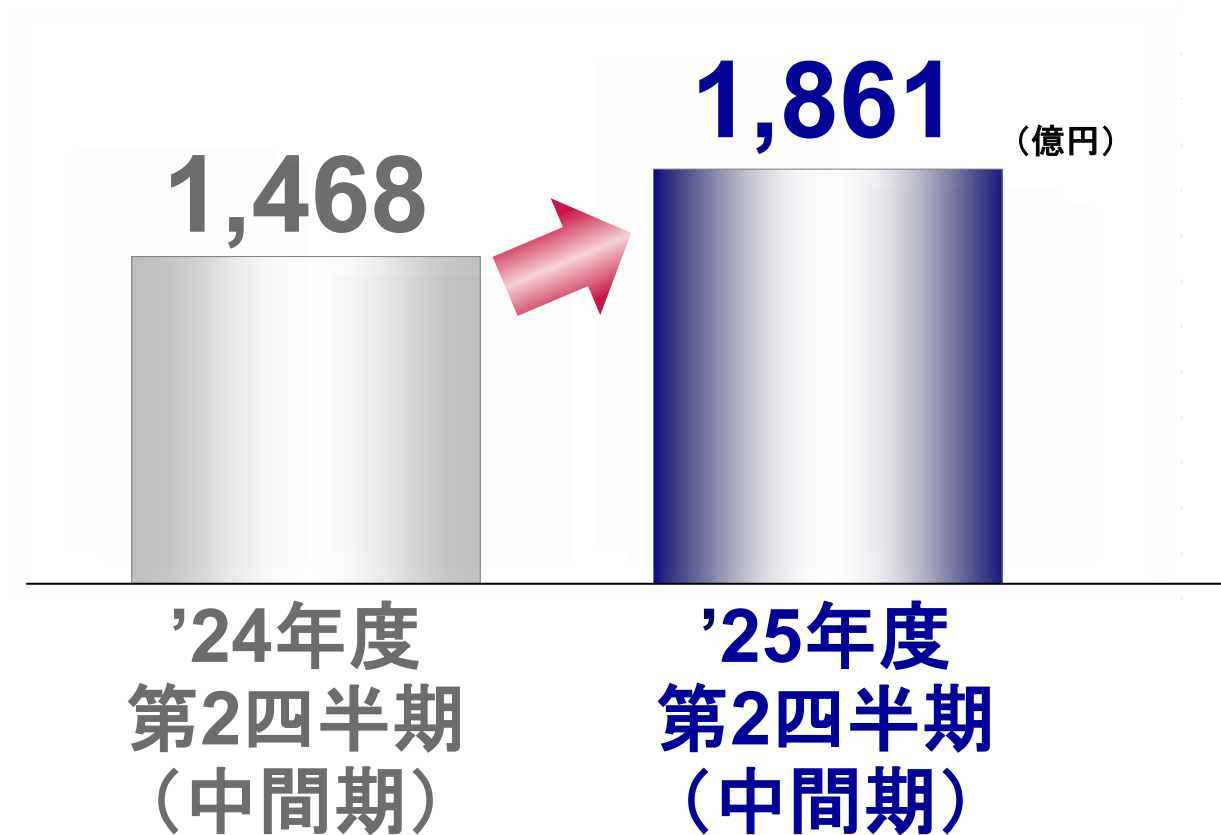
前連結会計年度に生産を開始した「新型パトロール」及び「新型アルマーダ」の増加等により、前年同期と比べ15.4%増加の73,345台



	(千台)		
	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	33	45	37.0%
商用車	24	23	▲0.7%
小型バス	7	5	▲28.1%
合計	64	73	15.4%

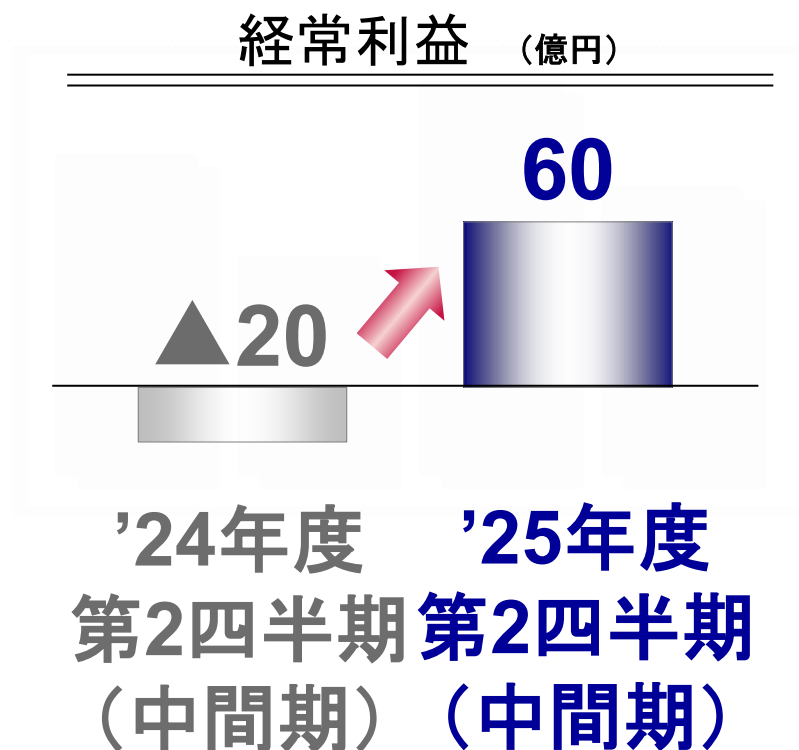
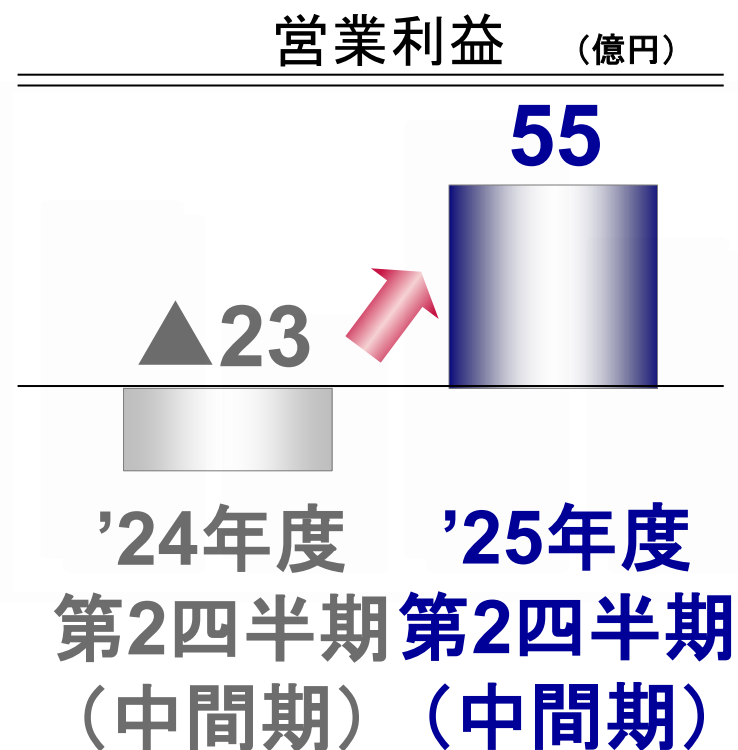
売上高

台数増加の影響等により、26.8%増加の1,861億円

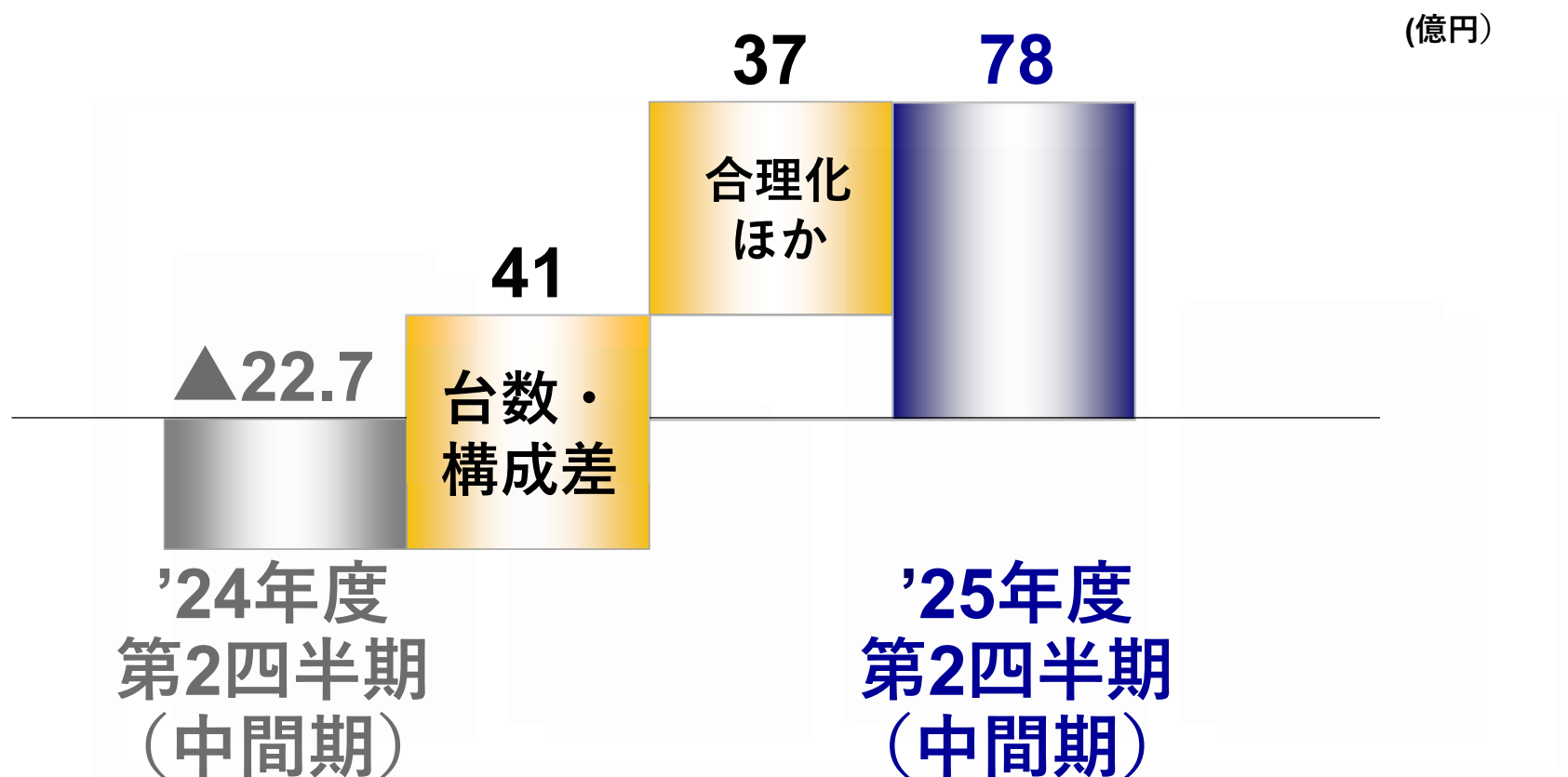


営業利益／経常利益

営業利益は台数増加の影響に加え、生産効率が向上したこと等により78億円改善の55億円
経常利益は80億円改善の60億円

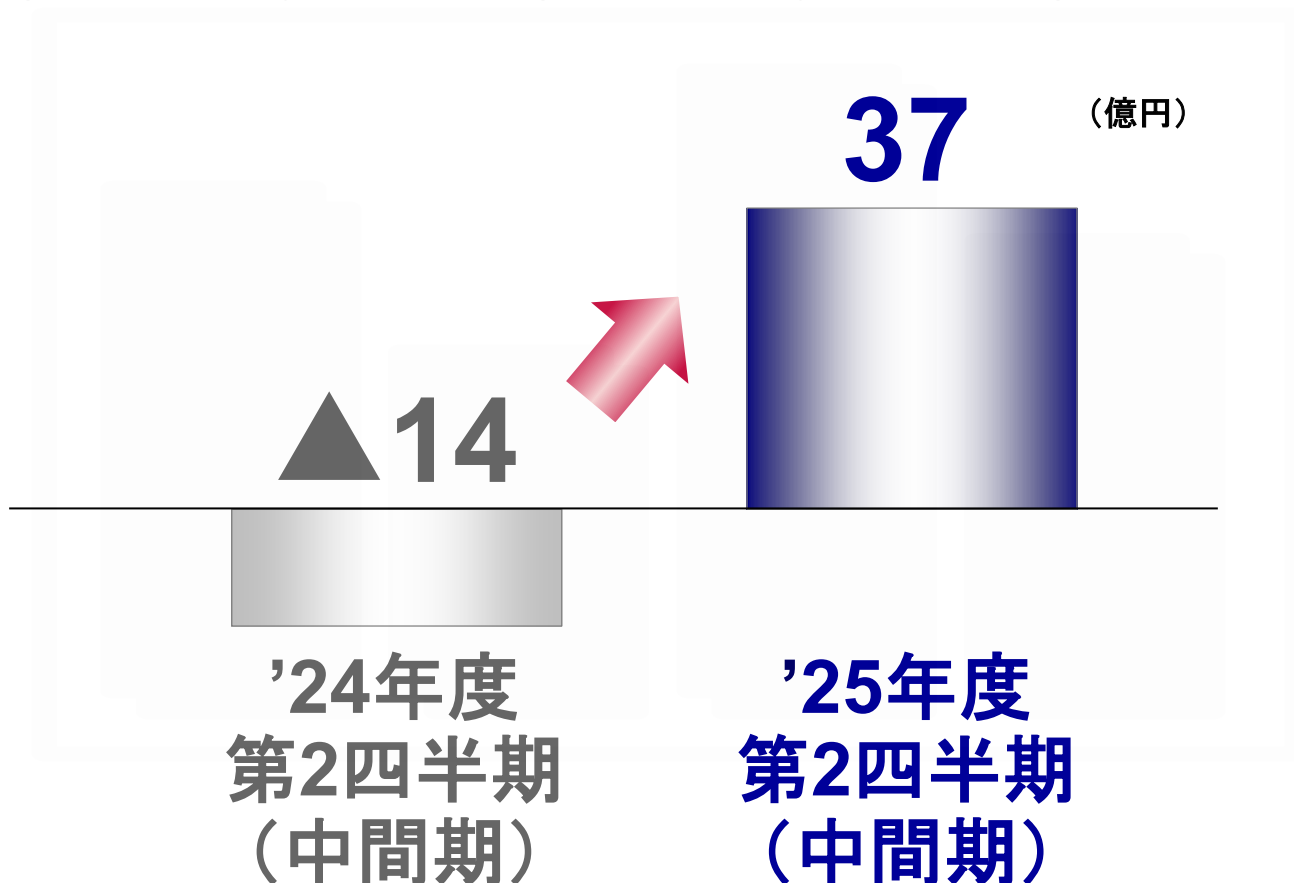


営業利益の増減要因



親会社株主に帰属する中間純利益

51億円改善の37億円



2025年度 1株当たり配当金

安定配当を継続する基本方針のもと、2026年3月期は年間13円を予定

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

